

市民が創る情報紙

あしやわがまち通信



「市民が、市民のために、市民が楽しめる情報紙をつくらう」をキャッチフレーズに情報紙プロジェクトは活動を開始しました。4月には顔合わせをして、さあ何から手をつけるか?・・・ とりあえずプロの話を聞いてみようということで、7月の「第3回あしや保健福祉フェア」において、「地域の情報紙のつくりかた」と題して、サンケイリビング新聞社の山内氏から「記事の内容は?」「配布方法は?」「部数は?」等々・・・課題をご指摘いただきました。

記事の内容は、3つのプロジェクトの紹介と自治会の取組を中心に掲載しようということになり、具体的な活動を行っている4つの自治会から記事や写真をお願いしました。

また、新たにプロのカメラマンでもある、長谷川氏の協力もいただき、「ちゃや秋まつり」や「奥池冬まつり」

で、情報紙用の写真撮影もしていただきました。

発行部数は、市内世帯が約4万超であることから、その半分の2万部に決め、配布の方法は、当初、大きな組織にお願いする方法や新聞折り込みでの配布を検討しましたが、経費の問題や作り手の思いが伝わる方法は無いか?ということで、出来るだけ、手配りするイメージで配布をしました。

配布の方法については、まだまだ課題が残っていますが、第2号の発行に向けて、記事集め、記事や写真の構成について、改善をし、多くの方々のご協力をいただきながら、当初の思いを大切に、取り組んでいきたいと思ひます。

「市民が創る情報紙」

市民が創る情報紙とは、市民が主体的に活動し、地域を盛り上げるための活動です。市民が主体的に活動し、地域を盛り上げるための活動です。市民が主体的に活動し、地域を盛り上げるための活動です。

一人ひとりが「できること」で参加する ひとり一投運動

一人ひとりが「できること」で参加する ひとり一投運動。一人ひとりが「できること」で参加する ひとり一投運動。一人ひとりが「できること」で参加する ひとり一投運動。

第1回 市民が創る福祉プロジェクト つながろう!!「芦屋」



茶屋之町自治会 「絆の広がり求めて」



奥池町自治会 「安心して暮らせるまちづくりのために」



情報紙メンバーによるコメント(若林益郎)

「市民が創る情報紙」ということで、広報紙でも特別で専門的な情報紙でもないものということから始めました。元々は、「第2次芦屋市地域福祉計画策定委員会」の時に、自分の知りたい情報が他の団体の情報紙に載っていたが、それほどの様にして手に入れるのか?との意見があり、色々な団体の情報を繋げる情報紙創りを行政と市民の協働で行って来ました。

まだまだうまく機能していませんが、市民皆様の中で創っていきたくと考えています。是非ご自身の欲しい情報などご意見、ご希望をお聞かせください。

メンバー紹介(順不同)

佐瀬美恵子・本郷孝・木村和子・船橋久郎・柴沼元・若林益郎・長岡良徳・小川和真

ひとり一人役運動

私たちが考えた課題 地域の中での人や団体のつながりが無くなってきている

なぜそうなっているの？

- 地域について関心がない人が増えているから
- 住民の生活様式が違うから
- リーダーがないから
- 地域住民や、団体等が集まる場がないから
- 地域の情報や、団体、ボランティアの情報が伝わっていないから

一方で

- 大変な活動はできないけれども、少しの事だったら参加できそう
- 専門知識を生かして地域活動ができないか

という人がいるはずだ

なぜそれが問題なの？

自治会や、福祉団体、ボランティア活動の活動に、新しい方になかなか参加してもらえない。それにより現在の地域活動者の負担増や活動の停滞がおこっている。



両者をつなぐことはできないか

そこでできたのが

「あしや役立ち隊」

- 少なから協力できる人
- あと一押しすれば活動に参加しそうな人
- 資格や特技を持って活動できる人に役立っていただくという登録制度

“それぐらいだったらできるわ”
という役割をたくさん作って、それを担ってもらう。
資格や、特技を持った方が、それを生かして活動をする。
一人ひとりが何か一つの役割を担っていけば、活動も大きくなるし、つながりもできる。

活動の中でできたこと

- 防災士による防災・減災かるたの取り組み
- 司法書士によるプロボノ活動

ひとり一人役 一言コメント

氏名	肩書き、所属等	コメント
上野 義治	コミュニティ援助室主宰者	地域プロボノ活動を定着させたい
宮平 太	芦屋市社会福祉協議会	一人ひとりの役割が地域の役に立つように
森 幸子	芦屋ボランティア連絡会	ほんの小さな事が、誰かの役に立つて素晴らしい事だと思いませんか？
菅沼 久美子	慶応大学SFC研究所 上席所員(訪問)	地域で何が出来るか、皆様と一緒に考えたい
藤原 正彦	有限会社DTPbasecamp	今更ながらですが、地域の温もりやつながりが求められています
芦田 耕司	NPO法人兵庫県暮らしにやさしい防災・減災。防災アドバイザー	長生きの秘訣三要素-運動・栄養・社会活動参加!あしや役立ち隊では非ボランティアを
朝倉 巳作	芦屋市手をつなぐ育成会	出来る事を出来る範囲で、地域のために
東郷 明子	芦屋市民生児童委員	どうしたらみんながつながっていけるのか、ともに考えたいと思います
竹迫 留利子	地域福祉課	何か私に出来る事、地域の中で役立てること、何かないかしら?それが「あしや役立ち隊」募集中!

地域福祉アクションプログラム推進協議会の軌跡

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

会議開催

開催日	協議内容
平成 24 年 10 月 17 日	自己紹介・設置要領、今後の活動内容の協議
11 月 14 日	ちゃや秋まつりの報告・今後の活動内容の共有
12 月 14 日	奥池冬まつりの参画内容の協議
平成 25 年 1 月 11 日	奥池冬まつりの報告・成果報告について協議
1 月 25 日	「わがまちベンチフォトコンテスト inAshiya」の取組共有
2 月 7 日	第 2 回市民が創る福祉プロジェクト展の内容協議
2 月 28 日	第 2 回市民が創る福祉プロジェクト展の内容協議
3 月 13 日	第 2 回市民が創る福祉プロジェクト展の最終協議

※上記に加えて、毎月 3 プロジェクトの活動内容を報告・共有

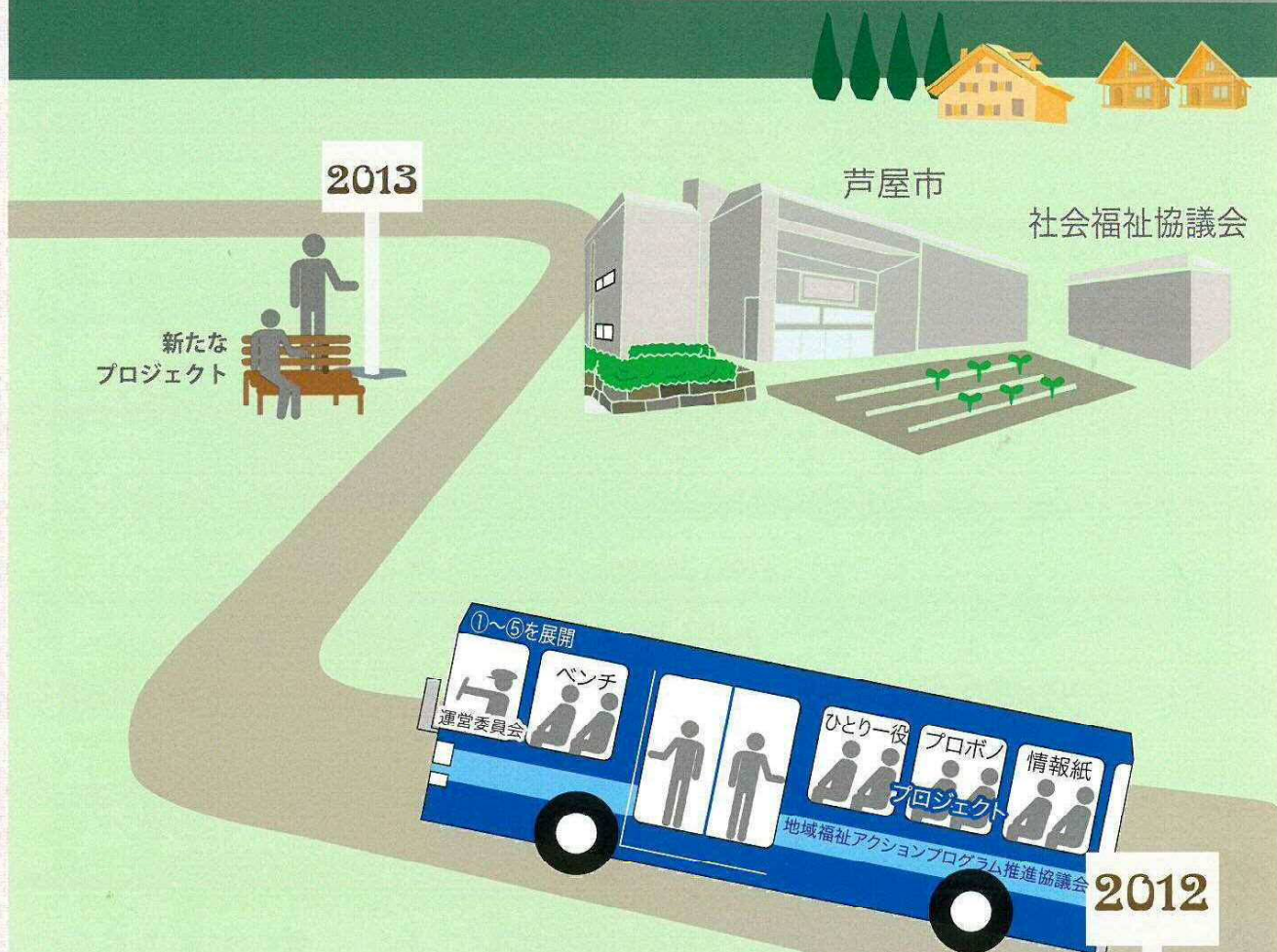
他団体との協働・イベント主催等

活動日	活動内容
平成 24 年 7 月 28 日	第 3 回あしや保健福祉フェア ・講話「地域の情報紙の作り方」 ・講演「私たちが創る私たちのまち 3」 ・3 プロジェクトの活動報告
10 月 27 日	ちゃや秋まつりで「なかよしベンチ」の展示・紹介 自治会の活動を取材・「あしやわがまち通信」に掲載
12 月 23 日	奥池冬まつりで「なかよしベンチ」の展示・紹介 自治会の活動を取材・「あしやわがまち通信」に掲載
平成 25 年 3 月 23 日	第 2 回市民が創る福祉プロジェクト展 ・3 プロジェクトの活動紹介 ・ひとり一役運動 メンバー募集 ・「あしやわがまち通信」第 1 号 発刊

平成 25 年度も、より発展的で活動的な取組を目指してがんばります！！



地域福祉アクションプログラム推進協議会の 今後の方向性



地域福祉アクションプログラム推進協議会の役割

- ①「わがまちベンチプロジェクト」
「市民が創る情報紙」「ひとり役運動」の活動共有と支援
- ②新たなプロジェクトの活動支援
- ③メンバーの公募とコーディネート
- ④プロジェクトの活動内容の広報・啓発
- ⑤多彩な人材による技術的支援

●お問い合わせ

芦屋市 保健福祉部 地域福祉課

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6

TEL 0797-31-2121 FAX 0797-38-2160

ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>